



だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して ～UR 都市機構と協定を締結しました～

1 概要

西東京市と独立行政法人都市再生機構（「UR 都市機構」という。）は、7 月 31 日に「ひばりが丘パークヒルズ団地における連携協力に関する協定」を締結しました。

本協定は、UR 都市機構が管理する、ひばりが丘パークヒルズ団地（ひばりが丘 3 丁目）（「団地」という。）において、両者が連携協力し、西東京市が掲げるまちづくりの目標である「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」及び UR 都市機構による団地の地域医療福祉拠点化の目的である「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち（ミクストコミュニティ）」の実現を目指します。

今後、本協定に基づいた各種取組を進める中で、少子高齢社会への対応や共生社会の構築といった、将来を見据えたまちづくりについても調査・研究していきます。

2 連携協力事項

- （1）超高齢社会における地域づくりに関すること。
- （2）包括的な地域福祉の体制づくり及び在宅療養の推進に関すること。
- （3）健康寿命の延伸及び健康づくりに関すること。
- （4）多世代交流の促進、居場所づくり及び全世代型の相談体制の構築に関すること。
- （5）その他、地域の活性化及び賑わいの創出に関すること。

3 平成 29 年度の取組

本年 5 月からは、協定に先行する形で、団地の集会所にて、西東京市と東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）との連携事業である「フレイル予防事業」（都内初の取組）をモデル的に開始しています。

【問い合わせ先】 企画政策課（TEL：042-460-9800）

資料のポイント

- ・ 連携協力事項は 5 項目
- ・ 今後、各種取組を進めるとともに、少子高齢社会への対応や共生社会の構築といった、将来を見据えたまちづくりについても調査・研究していく。
- ・ 本年 5 月からは、協定に先行する形で、「フレイル予防事業」（都内初の取組）をモデル的に開始している。